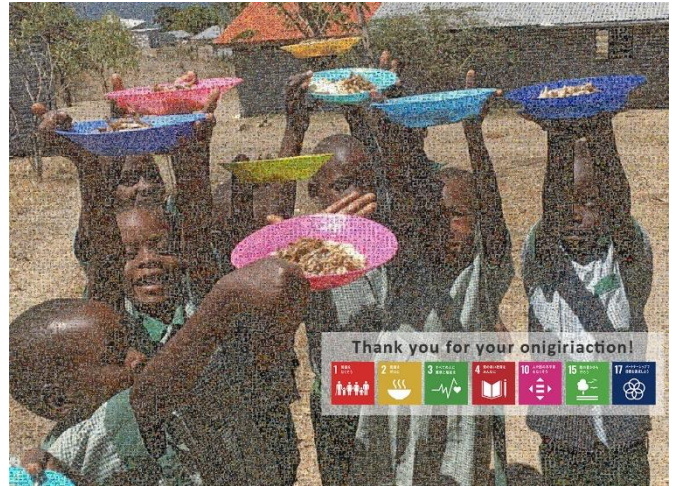


「おにぎりアクション 2019」約 30 万枚の写真投稿 160 万食の給食をアフリカ・アジアの子どもたちに届ける SNS 上に溢れた #OnigiriAction の写真

日本発、世界の食料問題の解決に取り組む特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International（東京都港区、代表理事・安東迪子、以下 TFT）は、国連が定めた 10 月 16 日「世界食料デー」（世界中の人が食べ物や食料問題について考える日）を記念し、おにぎりの写真投稿がアフリカ・アジアの子どもたちの給食になる「おにぎりアクション 2019」を本年 10 月 7 日（月）から 11 月 20 日（水）まで開催しました。キャンペーン期間中に合計 29 万 5,398 枚（1 日あたり約 6,500 枚）のおにぎりの写真が投稿され、その結果およそ 8,000 人の子どもたちに 1 年分の給食（約 160 万食分）を届けられることのお知らせします。



◆「おにぎり」で国境を越えてつながる

本アクションは、おにぎりにまつわる写真に #OnigiriAction を付けて SNS(Facebook, Instagram, Twitter, FiNC)に投稿、またはおにぎりアクションの特設サイトに投稿すると、1 枚の写真投稿につき給食 5 食分に相当する寄付(100 円)を協賛企業が提供し、アフリカ・アジアの子どもたちに給食をプレゼントできる取り組みです。（特設サイト：<https://onigiri-action.com/>）2015 年に開始してから 2019 年までの 5 年間の開催で、累計 80 万枚、約 450 万食の給食を届けています。

本アクションの趣旨に賛同し、日産セレナ(トップスポンサー)、イオン、オイシックス・ラ・大地、伊藤園、ベネッセ（初参加）、Mizkan（初参加）、日本航空、FiNC、旭化成ホームプロダクツ、象印マホービン、福井県、福井県あわら市など国内 26 社の他、アメリカに拠点を置く企業 20 社が、今回の「おにぎりアクション 2019」に賛同し、協賛(※2)、または寄付つき商品を販売、商品・サービスを提供しました。

◆SDGs を通じた企業連携

NPO と協賛企業・自治体が連携し、消費者が参加する形でアクションを協創。アクションに共感した 46 の協賛企業・自治体が協力し、「飢餓をゼロに」をはじめとした SDGs 達成に向けての行動を起こしました。8 月に実施した協賛企業担当者 26 名が参加したアイデア会議では、企業横断でできる啓発企画について考え、おにぎりアクション期間中に企業間コラボレーションを实



施しました。

- ・各社の担当者が JAL 機体格納庫に集合し、企業横断でおにぎりアクションへの参加宣言！
協賛企業各社が集い、開始と共に発信しました。また日産セレナがおにぎりアクションの紹介ムービーを制作し、おにぎりアクション参加企業の参加の想いを発信。各企業の SNS でも拡散しました。

<https://www.facebook.com/NissanJP/posts/2623627360990761/>

https://twitter.com/mizkan_official/status/1180981148400287744?s=20

https://twitter.com/finc_japan/status/1181033936832647168?s=20

https://www.instagram.com/p/B3TO3KsjLq6/?utm_source=ig_web_copy_link



- ・スポーツ選手がおにぎりアクションに参加

各社の呼びかけでスポーツ選手たちもおにぎりアクションに参加。日産セレナの企画である「#家族史上最高のおでかけ」と共にフェンシング選手がおにぎりと共に写真を投稿、イオン・JAL・ベネッセに所属するスポーツ選手もおにぎりアクションへの参加を呼びかけました。

- ・セーリング女子代表の吉田愛選手、吉岡美帆選手
- ・フェンシングの宮脇花綸選手、江村美咲選手、伊藤心選手

https://www.instagram.com/p/B3okiBeBm0a/?utm_source=ig_web_copy_link

https://www.instagram.com/p/B3rEy0FJJn-/?utm_source=ig_web_copy_link

https://www.instagram.com/p/B3qta2uJsus/?utm_source=ig_web_copy_link

- ・イオン新体操クラブ

https://twitter.com/AEON_JAPAN/status/1193045553275228160?s=20

- ・陸上の山本凌雅選手、土井杏南選手、戸邊 直人選手

<https://twitter.com/1610ryo/status/1193024025057882118?s=20>

https://twitter.com/qnqn_101/status/1192957667704074240?s=20

<https://twitter.com/naotobe/status/1192955292218081280?s=20>

◆学生や教育現場にも広がった支援の輪

「学ぶだけではなく、社会課題に対する行動を起こせる」との理由から、授業や学校祭・修学旅行など学校行事で取り組んだり、昼休みや部活の合間に友人同士で参加したりと、学生ならではのアイデアで撮った数多くの写真が SNS や特設サイトへ投稿されました。

本年は初めて「おにぎりアクション アンバサダー校」を認定。以前より学校単位でおにぎりアクションに参加していた、海星学院高等学校、京都学園中学校・高等学校、神戸山手女子中学校・高等学校の 3 校が初代アンバサダー校に就任し、例年通り学校をあげておにぎりアクションに参加すると共に、キャンペーンの広報・PR 活動に協力、他校・地域への周知活動、協賛企業とのコラボレーション企画などを行いました。



また、ベネッセコーポレーションは、探究学習用教材「探究ナビ」の期間限定教材として、TABLE FOR TWO やおにぎりアクションを題材とした教材を中学生・高校生向けに開発。本教材は、ベネッセの特設サイトに先駆けて、全国の高校の50%で導入されている教育プラットフォーム「Classi(<https://corp.classi.jp/>)」にて公開しました。「貧困」をテーマに探究活動に取り組む授業を行うなど、教育現場でも更なる広がりを見せ、どの学校もおにぎりアクションを紹介された生徒たちが主体的に動き、学びながら参加しました。

*ベネッセ企画詳細：<https://www.benesse.co.jp/onigiri-action>

*おにぎりアクション実践校のレポート：<https://classi.jp/news/>

◆店頭や機内などリアルな場での接点を拡大

参加者と接点を持てるリアルな場として店頭でのおにぎりアクション参加施策も実施しました。イオンは10/7~20まで各店舗にておにぎりに関連する対象商品を購入すると、売り上げの一部が寄付となるキャンペーンを実施しました。「この商品で〇円分の給食が寄付されます」と、購入されたお客さま自身がおにぎりアクションに参加したことを「自分事」として実感できるわかりやすい表現にして伝えました。

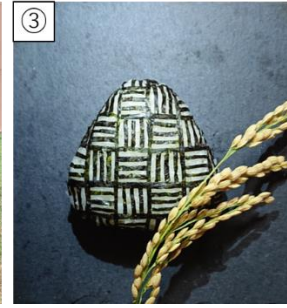


日産セレナは去年に引き続き2回目の実施となるリアルイベントをイオンモールで実施。おでかけをイメージしたブースで、おにぎりアクションをより身近に感じる企画「おにぎりアクション2019 ～家族史上最高のおでかけで、世界の子どもたちに給食を～ supported by NISSAN SERENA」を開催しました。4日間で約36,000人の方が来場。同じく協賛をする福井県の米いちほまれを使用したおにぎり2,400個を配布し、イベントを通して親子で食や社会貢献を考える機会を創出しました。

日本航空は機内誌であるSKYWARDにSDGsレポートとしておにぎりアクションの特集を掲載。日本航空が運航する国際線・国内線へご搭乗のお客さまへ訴求し、日本航空のSDGsの取り組みを通じて食料問題や貧困問題への啓蒙活動を行いました。

◆おにぎりフォトグランプリ受賞者が決定！

投稿された一枚一枚の写真には、参加者の様々な想いが込められています。それらのストーリーを多くの方に知っていただきたく、今回は9つの賞を設定し、選定いたしました。



1、こんなところでよく撮ったで賞：なお君

サンゴ礁の島・グリーン島でおにぎりアクション！10食の給食を届けるために、こんなところまでお米とお〜いお茶を持ち込んだ熱意と、素敵な写真に拍手！

2、ベストポージング賞：やや 様

「Let's おにぎりポーズ」と題された中学生によるおにぎりアクション！5人の統一されたポージングと表情の豊かさがとっても素敵です！

3、海苔ノリで賞：Azusa 様

海苔で田んぼを表現したおにぎりアートでおにぎりアクション！こんなに海苔ノリした美しいおにぎり、見たことありません。あっぱれ！



4、家族史上最高のおでかけで賞 supported by NISSAN SERENA：kiyopiyo 様

秋晴れの一日に、おにぎりを持ってドライブでしょうか。真っ青な空の下、お父さま・お子さま共に青い洋服でのおにぎりアクション、とても素敵です。

5、子どもおにぎり大賞 supported by Mizkan おむすび山：なっちゃん 様

あふれんばかりの笑顔で、口に入りきらないほどのおにぎりを頬張ってのおにぎりアクション！とってもおいしそうな表情に、こちらまで笑顔になりました。

6、動物おにぎり大賞 supported by 象印マホービン：sanasio 様

ペンギンの親子を再現したおにぎりでおにぎりアクション！くちばしを海苔で、ヒナの羽毛をとろろで再現するアイデアカに脱帽です！



7、世界をつないだで賞 supported by JAL：ポエム 様

JAL の就航地シドニーをイメージして、カンガルーでおにぎりアクション！耳は舞茸をさっと煮詰めてつくったそう。細部までこだわったとっても素敵なおにぎりです！

8、学んでアクションしたで賞 supported by Benesse：こたママ 様

<受賞者メッセージ>2歳で2語を話し始めたての息子が散歩途中に通る田んぼの稲穂を指差して『何だこれは！』と度々聞いてくるので、毎回お米だよ、ごはんだよと教えているのですがなかなか理解ができてない様子。それで、おにぎりアクションのことを思い出して、せっかくなのでおにぎりを持参して稲穂に囲まれながら食べさせてみました！『この稲が、このおにぎりになるんだよ』と目と食で食育に繋げました。息子も納得したようで、おにぎりも美味しく食べてくれました。これで他の国の人たちも美味しいごはんが食べれるね。

9、エピソード大賞 supported by イオン：岩本友美 様

<受賞者エピソード>昔、料理屋で板前をしていた私は数年前にデイサービスで働いていた。末期ガンのYさんはお粥が苦手な方で食事がほとんど食べれない状態だった。少しでも食べて欲しくて、人差し指で握った2センチの小さなおにぎり。「私の為に作ってくれたの！美味しいわ！」と食べて貰えた時の感動を私は忘れない。1カ月作り続けたおにぎり。私は彼女の優しさとおにぎりの素晴らしさを学んだ。そして…時々彼女を思い出しながら小さなおにぎりを作る。

協賛企業について

Top Sponsor



Official Partners



Corporate Partners



Supporting Partners



NPO 法人 TABLE FOR TWO International について (<https://jp.tablefor2.org/>)

2007年10月設立。“TABLE FOR TWO”を直訳すると「二人のための食卓」。先進国の私達と開発途上国の子供たちが食事を分かち合うというコンセプトの下、社員食堂や店舗でTFTヘルシーメニューを購入すると、代金の内20円が寄付となり、飢えに苦しむ世界の子供たちに給食1食分をプレゼントできる。これまで企業や官公庁、大学、病院など約720団体が参加。これまで約7,000万食をアフリカのウガンダ、ルワンダ、エチオピア、タンザニア、ケニア、アジアのフィリピンに届けた。